



1月の図書コーナー … 6年生のおすすめ本【第1弾】



「6年生が友達・後輩にすすめる本」＝メッセージにも注目！

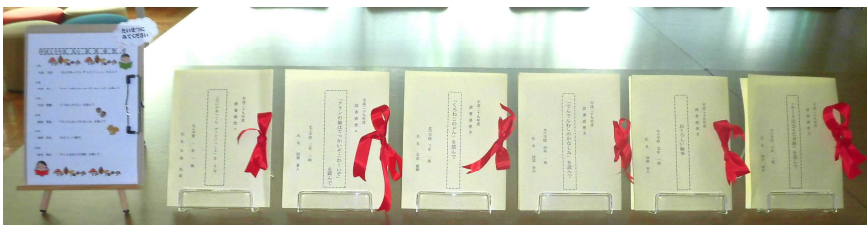
1	いい人ランキング	新□美□	6	もい鳥	齊□圭□
2	ゼロからのつり入門	小□純□	7	らくだい魔女はプリンセス	鈴□爽□
3	待っている怪談 白い本	大□保□良	8	おかし工場のみみつ!!	星□琉
4		尾□蓮	9	恐竜の谷の大冒険	柚□知□
5		小□智□	10	ルルとララのカップケーキ	横□な□さ

※ 図書コーナーに展示した本には、すすめてくれた人が書いてたメッセージカードが付けてありますので、ぜひ“おすすめの原因”を読んでみましょう。

図書室に北小代表・桐生市代表の読書感想文コーナー

	学年	氏名	作品名
北小代表	1年	木□光□	「なにがあっても ずっといっしょ」をよんで
	2年	稲□蒼□	「アランの歯はでっかいぞこわーいぞ」を読んで
	3年	石□優□	「くろねこのどん」を読んで
	4年	綾□翠□	「でんでんむしのかなしみ」を読んで
	5年	畑□実□	「おそろしい戦争」
	6年	鈴□爽□	「キミと出会えた奇跡」を読んで
桐生市代表	4年	栗□逸□	「おばけ道、ただいま工事中!？」を読んで

読書感想文が苦手な人は、ぜひ読んで参考に見てください。



『北小児童の家庭学習等に関する調査』結果から

北小児童の家庭における毎日の読書量は？

お子さんは、土曜日・日曜日も含めて、「1日平均何分くらい」読書を行っていますか？
 なお、ここでいう読書には、漫画、雑誌、ゲーム攻略本、新聞などは含めません。

【表1】については、12月12日(火)発行の『北小っ子第66号』でお伝えしましたが、「0分～」の内訳や「30分～」以上の内訳を見てみると【表2】及び【表3】のようになります。

【表1】	0分～	5分～	10分～	15分～	20分～	30分～	45分～	60分～	平均時間
1年(27人)		5	12	4	1	5			14分
2年(23人)	5	3	10	2	1	1		1	14分
3年(34人)	3	5	8	4	7	4	1	2	17分
4年(29人)	2	7	14	2	1			3	17分
5年(32人)	6	2	5	5	5	8		1	21分
6年(33人)	11		6	3	4	5		4	18分
合計(178人)	27	22	55	20	19	23	1	11	17分
%	15.2	12.4	30.9	11.2	10.7	12.9	0.5	6.2	

【表2】	0分
1年(人)	
2年(人)	2
3年(人)	3
4年(人)	2
5年(人)	6
6年(人)	10
計	23

【表3】	30分	40分	45分	50分	60分	65分	120分	180分
1年(人)	5							
2年(人)	1					1		
3年(人)	4			1	2			
4年(人)					1	1	1	
5年(人)	7	1						1
6年(人)	4	1			4			
計	21	2	0	1	7	2	1	1

家庭でまったく読書をしていない児童が23名、5～9分程度の読書しかしていない児童が22名もいる中で、毎日1時間、2時間、3時間を読書に充てて、楽しく充実した時間を過ごしている児童（いわゆる“本の虫”）もいます。

“本の虫”というのは楽しいから読書をしているわけで、それ以外の理由はあまりないと思いますが、楽しく読書を続けていると、知らない間にいろいろな資質や能力（語彙力、作文力、思考力、集中力、発想力、記憶力、洞察力、想像力、創造力、問題解決能力、情報処理能力、人間力、コミュニケーション能力、知的好奇心、探求心等）がジワジワと身に付いてきます。そして、その中でもっとも貴重なものは「語彙力」だと思います。

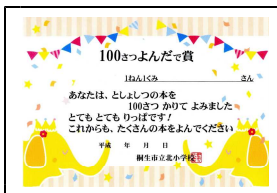
私たちの思考、判断、感情、コミュニケーションの基になっているのは、私たちの頭の中に蓄えられた語彙（言葉）だからです。

多くの語彙を身に付けている人と乏しい語彙力しかない人とでは、どちらがより深い思考、よりきめ細やかな感情表現、より円滑なコミュニケーションが可能でしょうか？

自分の不快な気持ちを、「うぜえ」とか「むかつく」でしか言い表せないような若者、感動した時も、美味しい時も、驚いた時も、困った時も、「やばい」としか表現できないような若者が増えてきています。このような若者には、読書の習慣が定着していない場合が多く、年齢相応の語彙力が不足しています。反面、電子メディアには夢中になっているので、こういった“使い勝手のよさ(?)”が感じられる言葉は、SNSやテレビを通してどんどん広まり、流行遅れになるまでは、若者言葉として遣われ続けていきます。

「これで良いのだろうか？」と問題意識を抱き、ちょっと悲しい気持ちになってしまうのは、私だけではないと思います。

その後の<100さつよんだで賞>受賞者



北小の図書館では、入学してきた1年生に、望ましい読書習慣が早く身に付くよう、学校図書館の本を100冊読破した児童に、それを達成した時点で、随時<100さつよんだで賞>のミニ賞状を授与するようにしています。

今回の受賞者
 田口 弦

